

令和5年度 大分地方最低賃金審議会
特定最低賃金専門部会
〈非鉄金属製造業〉

- 1 日時 令和5年10月10日（火） 午前10時00分～
- 2 場所 ソフトパークセンタービル3階会議室
(大分市東春日町17番20号)
- 3 出席委員（敬称略）
公益代表：井田 雅貴、清水 立茂、田中 朋子

労働者代表：羽田 徹、姫野 琢哉

使用者代表：大塚 浩、木下 正文、久甫 望
- 4 事務局
大分労働局：斉藤 労働基準部長、金田 賃金室長
田口 賃金室長補佐
- 5 議 題
(1) 金額審議
(2) その他
- 6 議事要旨
(1) 金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議要旨
労働側委員からは、
・労働生産性と分配率のアップを図ることが必要であり、積極的な賃金の引上げをお願いしたい

- ・電線事業では、利益は確保できており、経営状況は、良くはないが、悪い状況ではなく、安定した状況であると認識している
- ・電子部品や半導体関係事業については、在庫調整となっており、また、中国の経済減速の状況も懸念されるが、黒字は確保されている
- ・昨年度懸念されていた価格転嫁については、価格転嫁できる環境が広がっている。特に中小企業で進んでいる
- ・優秀な人材が他県、特に TSMC 関係で熊本に流れているなどの説明があった。

使側委員からは、

- ・電線事業は事業全体としては悪くないが、子会社での稼ぎの部分が大きく、本体の事業はぎりぎりプラスの状況である
- ・価格転嫁は以前より進んでいるがまだすべてではない
- ・電子部品等の状況は昨年と比べれば本年は悪い状況である。そのため昨年の引き上げ率 29 円も考慮したいが、地域最賃の引き上げが大きかったため考え方が難しい状況であるなどの説明があった。

ウ 協議結果

公益委員より歩み寄りを求め慎重な審議が行われたが、意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月12日(木)午後1時30分から開催することとなった。